



第44号2016年 町田

俊風会
NEWS日本維新の会
伊藤しゅんすけ
Shunsuke Ito〒194-0021 町田市中町 2-6-11 サワダビル3F
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935
〒206-0002 多摩市一ノ宮 4-1-1 N2ビル 2F
TEL 042-375-5500 FAX 042-375-3873Homepage <http://www.i-shunsuke.com>
Mail officeshunsuke2012@gmail.com
Twitter http://twitter.com/shunsuke_ishin
FB <http://www.facebook.com/shunsuke.ishin>

党名「日本維新の会」に決定。 「維新」参議院選で躍進、単独で議員立法提出が可能に！



8/23党大会にて党名が「日本維新の会」に決定しました。参議院選で維新は、政党として単独で法案提出可能な議席を獲得させて頂き、更に改革を進めることができます。まずは「政治とカネ」の問題の根幹でザル法とも言われている「政治資金規制法の改正」や、「企業団体献金の禁止」、「国会議員定数削減」、「公務員人件費削減」、「文通費使途公開」など他党がやらない国会議員の身を切る改革をはじめとした独自法案を提出します。また、憲法改正の議論においても、与党だけでは3分の2に届かず、「維新」がキャスティングボードを握る形となりました。「維新」は、「教育完全無償化」や「道州制など地域主権改革」、「憲法裁判所設置」などを実現するための憲法改正を目指します。

GDP成長率ゼロ、日本だけが成長していない。

－自民・民主・公明3党の増税による財政再建は間違っている－

増税で財政再建した国はどこもない。3年前、民主・自民・公明3党で安易な増税を決めてしまいました。その結果、雇用は非正規が増え、消費が減ってGDP成長率もゼロ、先進国で日本は最低です。更に国民の格差が広がっています。維新は3年前から増税の前に先ず政治家や公務員、役所が身を切り、歳出削減を徹底して財政再建をするべきと訴えて来ました。大阪は、11年連続赤字続きだった財政を、橋下徹が知事に就任して、たった1年で黒字に転換し、以後8年間黒字で経営しています。大阪で実証された財政再建を今度は日本全体で1060兆円もの赤字体質の日本の改革に維新は挑戦します。

身を切る改革一次世代への投資を約束。

これまで国民には増税負担を繰り返し、逆に国会議員と公務員の給与は上がる、これが日本の政治の現状です。東日本大震災から5年、この間、国会議員の歳費は月額26万円20%も上がり、国家公務員の歳費が約4000億円、地方公務員の歳費も約2000億円上がりました。国民に増税負担を求める前に、政治家や公務員の「身を切る改革」を実行します。維新は身を切る改革を実行し、増税なしで、12.3兆円の財源を捻出可能にし、教育無償化など実現します。(大阪は既に私立高校まで無償化を実現)

どんなにいい政策を語っても、実現するために財源をどうするのが大事です。自民党は、常に国民に増税負担を求め、民進党は、新たな赤字国債を発行し、借金を増やして財源をつくるが、維新は、身を切る改革で財源をつくります。

- 1、国会議員定数30%、国会議員歳費30%削減します。(大阪は、府議会定数20%、歳費30%削減)
- 2、国会議員年間1200万円の文書通信交通滞在費(領収書なし、報告なし、税金なし)の使途公開(維新の所属議員はHPで既に公開中)
- 3、企業団体献金の禁止(維新は既に実施中)
- 4、公務員の国・地方人件費5兆円、公務員数30%削減します。
- 5、出資法人数64%削減し、出資法人への天下りも60%削減します。
- 6、教育予算を3.7兆円増やします。
- 7、幼児教育から大学まで教育完全無償化を実現します。
- 8、維新所属の国会議員歳費20%を熊本震災へ寄附(実行中)

今こそ東京を変える時。

東京都知事選挙は、小池ゆりこ氏が圧勝し、初めての女性都知事が誕生しました。増田氏は、3期12年の岩手県知事時代に、赤字財政を7000億から1兆4000億の2倍した経緯があり、鳥越氏は、政策協議なしに共産や民進の野党4党合意で政策が語れない状態に陥った。結果的に、選挙中どこに行っても「既成政党に支援されない小池さん」との声が圧倒的に多かった。小池氏は、町田市90993票、多摩市32439票を獲得しました。来年夏の都議会選挙では、町田市は定数が1つ増えて4議席になります。「維新」は独自候補を擁立します。都議会議員の報酬年額2420万円、更に議会に出席する度に、交通費1万円(多摩地区1万2千円)支給される費用弁償などの議会改革や、待機児童問題、オリンピック費用問題など、小池氏の政策実行力にも注視しながら声を上げたいと思います。

- 年金は積立方式に＝人口が増え続ける時代に創られた年金(賦課方式)は少子高齢化時代には対応出来ず、1日も早く積立方式に変えるべきです。20代は受給年金がマイナス2400万円に。
- 待機児童ゼロ＝幼稚園の定数は207万人ですが、実際の在園数は140万人で、幼保一元化すれば、まだ67万人受け入れ出来るはず。また幼児教育無償化実現で待機児童は解決できます。
- 「原発」も「安保法制」も「沖縄」も国民の声が届かない政治＝「原発」は安全でも安価でもなく、最終処分地もない。それでも再稼働する政府。憲法違反でも自衛隊を海外派兵する政府。沖縄の米軍基地も頑なに見直そうとしない政府。私は間違ったことには間違っていると声を上げ続けます。
- 道州制・統治機構改革実現、大阪副首都、大阪都構想実現。東京と大阪の2つのエンジンで強化

43万人の健康と命を守る、町田市に救命救急(大学)病院を。

町田市は43万人もいて救命救急(大学)病院が1つありません。救急車の受け入れ先がなく出発できないケースも多いです。脳や心臓など市民病院で処置が出来ない場合は、北里病院や聖マリアンナ病院に搬送される初動の40分が命取りになります。八王子市には大学病院が2つ、相模原市には北里病院、14万人の多摩市には日医大病院が黒字で経営しています。なぜ、43万人の町田市に救命救急(大学)病院がないのか。これまで多くの業界団体は新規参入や競争を嫌い、組織を守るために政治家を支援し、当選した政治家は、業界団体を守ってきました。これが、政治のしがらみです。私は、業界団体ではなく、43万人の市民の方を向いて政治を行います。

町田

- ・鶴川駅南側駅前広場の実現と鶴川駅を橋上化で渋滞解消し、急行駅に。
- ・多摩センター駅－鶴川駅－東急こどもの国駅の南北を結ぶモルルール構想の実現。
- ・小田急線の小山田・相模原駅への乗り入れ早期実現へ
- ・北部丘陵を首都圏一魅力ある都市公園に
- ・相原の横浜線と町田街道のアンダーパス実現(渋滞解消)

- ・1979年8月5日 町田生まれ、町田育ち
- ・富士幼稚園卒 ・桐蔭学園小・中・高・大卒
- ・中国北京大学留学
- ・中央大学経済学部国際経済学科卒業
- ・会社起業経営 ・維新政治塾一期生卒

伊藤俊輔プロフィール

第46回衆議院議員選挙に立候補 東京比例次点(あと635票)
第47回衆議院議員選挙に立候補(50,836票)東京比例次点。
再び挑戦を続ける!

皆様のお声を是非お聞かせください。返信 FAX は 042-729-7935 までお願い致します。

ご氏名:
ご住所:

TEL:

FAX:

MAIL: